



# 徳島大学大学院医歯薬学研究部 DDS 研究センター

**令和5年4月1日、新研究センター発足。**

**A new research center has launched on April 1, 2023.**

令和5年4月1日、医歯薬学研究部に DDS 研究センターが設立されました。新しいモダリティーとしての核酸医薬が認知されるようになりましたが、その機能を発揮するためには、**薬物送達システム (Drug Delivery System: DDS)** が不可欠です。しかしながら、モダリティーの進歩発展に比べると、DDS には未だ開発の余地が残されており、世界で開発競争が盛んに行われています。その中でも我が国は、DDS 研究において世界のトップランナーとして認識されており、多くの研究者が DDS 研究に取り組んでいます。特に徳島大学にはオリジナリティーの高い DDS 研究を行っている研究者が多く在籍しているため、これらを集結させることにより革新的な DDS 開発が期待できます。そのため、我が国発の革新的 DDS 開発を目指して、徳島大学における DDS 研究の集約と国内 DDS 研究者および製薬関連企業との連携促進のための拠点形成を目的に、「**DDS 研究センター**」を設置しました。さらに本センターは、薬学部の専門科目「コア DDS 講義」および「研究体験演習」等と連携することで、学部低学年からの DDS 教育を実践するとともに、大学院博士課程・博士後期課程学生による DDS 研究を支援することで、次代の DDS 研究者の育成を目指しています。

本センターは、DDS 研究の大きな柱である「送達担体・技術開発」「物質動態制御機構に基づく DDS 担体・ルート開拓」および「免疫応答制御」に重点を置いて研究開発を行うため、「送達技術開発部門」「薬動力学部門」および「免疫応答制御部門」を組織しています。「送達技術開発部門」においてはナノテクノロジーを基盤としたペプチド・オリゴヌクレオチド等のモダリティーに最適な送達技術の開発研究を、「薬動力学部門」においては生体内における物質動態制御機構の解明に基づく、新たな DDS 担体やルートの開拓研究を、「免疫応答制御部門」においては mRNA ワクチンでも問題となっている送達担体やモダリティー、添加物等による望まれない免疫応答を制御するための技術開発研究を行います。本センター設立および事業の運営にあたっては、徳島大学学長裁量経費および研究クラスター事業のご支援をいただいています。

徳島大学大学院医歯薬学研究部 DDS 研究センター  
(体制図)

